



# 輝き

Kagayaki

協働!感動!躍動!

きょうどう かんどう やくどう

いきいきと輝くまち・三鷹

## Vol.16

2018年4月10日発行

【発行者】清原けい子後援会事務所 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭1-14-23 Fax.0422-71-0150

## 三鷹市山本有三記念館リニューアルオープン

三鷹市長 清原慶子

平成30(2018)年4月1日に「三鷹市山本有三記念館」がリニューアルオープンしました。この山本有三記念館は、文化勲章受章者で三鷹市名誉市民である作家及び参議院議員として幅広く活躍した山本有三が、昭和11(1946)年から住み、小説『路傍の石』や戯曲『米百俵』などの作品を生み出した場所です。平成8(1996)年11月3日に東京都から三鷹市に移管されたことから、前身である「有三青少年文庫」の実績を基礎に、その業績を顕彰する記念館として開館しています。

この記念館は大正時代に建てられた本格的な洋館です。スクラッチタイルの美しい外観、来客がくつろぐドローイングルーム(応接間)、个性的にデザインされた3つのマントルピース(暖炉)や煙突があり、壁やドアにも木目の装飾がなされるなど、荘厳な外観と部屋を備えた貴重な建造物であり、三鷹市有形文化財に指定されています。

しかしながら、建築以来90年を超え、一部の外壁が剥がれ落ちるなどの老朽化が進んでいましたので、末永く後世に伝えるために、「山本有三生誕130年」を迎えた平成29(2017)年に耐震改修工事を実施しました。

必要な耐震補強壁を設置し、外壁や室内を補修しながらも、全ての部材が建築当時から歴史を重ねて来たように施工されていることから、リニューアル後も、大正時代の佇まいをそのままに残しています。

今回、この工事を実施するに当たり、三鷹市では初の試みとなる「クラウドファンディング(インターネットを利用した寄附の募集)」を実施させていただきましたところ、市内外の多くの皆様から、目標額をはるかに上回る貴重なご寄附をいただきました。山本有三記念館の文化財としての価値を評価し、その維持保全に協働の意を表してくださいましたことに深く感激するとともに、心から感謝しています。

光栄なことに、天皇皇后両陛下におかれましては、平成20(2008)年9月19日に、元気に働く高齢者を激励されるために、三鷹市シルバー人材センターの皆様が庭の植木や花壇の手入れをされている記念館を行幸啓されました。そして、館内の展示もゆっくりとご覧いただきました。

これまで、山本有三のご遺族様から三鷹市に寄贈していただいた資料を中心とした常設展示に加えて、年2回のテーマを定めた企画展示の実施や、山本有三に関する講演会や朗読会などの事業が行われてきました。特に、かつてここに地域の子どものための文庫を開設していた山本有三の意思を引き継ぐために、今後は多くの子どもたちが来館し、本に親んでもらえるような取り組みも予定されています。

人生百年時代を迎えて、三鷹市の文学のまちづくりが、皆様の心のゆとりと潤いに貢献できることを願っています。



リニューアルされた記念館の前で